

越前若狭の 伝統工芸品

旅に文化を
暮らしに変化を。

福井駅までの鉄道アクセス



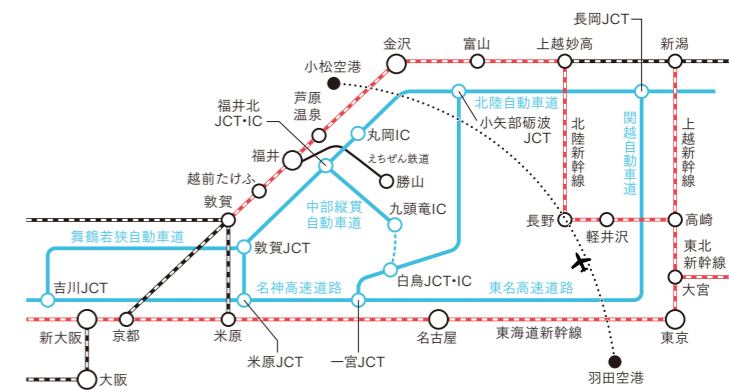
北陸新幹線經由 所要時間：約2時間50分
東海道新幹線經由「米原駅」乗り換え 所要時間：約3時間20分



特急しらさぎ經由「敦賀駅」乗り換え 所要時間：約2時間10分



特急サンダーバード經由「敦賀駅」乗り換え 所要時間：約2時間



福井県産業労働部商業・市場開拓課
福井市大手3丁目17-1
TEL.0776-20-0377
FAX.0776-20-0645



福井県の観光情報はこちら

福井県公式観光サイト
ふくいドットコム



旅に文化を 暮らしに変化を。

福井県には国指定の7つの伝統的工芸品があり、それぞれが長い歴史の中で育まれてきたものです。代々受け継がれてきたその一つ一つにストーリーがあり、今もなお不変と進化を繰り返して現代に至ります。また、これら以外にも福井の風土と暮らしの中には、数々の郷土の工芸品が存在し、私たちの生活に息づいています。旅を通して生まれる、伝統という文化との出会い。きっとあなたの暮らしに素敵な変化を与えてくれるはずです。

CONTENTS

16	14	12	10	8	6	4
若狭塗	若狭塗	越前筆筒	越前焼	越前打刃物	越前和紙	越前漆器
						国指定の伝統的工芸品

暮らしの中で育まれました 郷土工芸品

18	18	19	19	19	19	19	19	20	20	20	20	21	21	21	21	21	22	22	22	23	23	23	24	24	24	25	25	25	26	26	26	27	28	34
越前和蠟燭	銀杏材木工品	越前竹人形	三国筆筒	武生桐筆筒	武生唐木工芸	越前水引工芸	若狭パール	若狭和紙	うるしダルマ	越前指物	武生唐木指物	越前鬼瓦	鯖江木彫	油団	福井仏壇	越前×縄	組子指物	石田綺	越前洋傘	福井三味線	越前菅笠	三国提灯	越前竹細工	今谷焼	ふくいモダン刺し子	福井の伝統工芸を楽しもう	伝統工芸関連イベント	福井の伝統工芸に触れよう	体験・販売スポット	福井に来たなら立ち寄りたい	オススメ観光スポット			



約1500年の歴史を持ち、もともと堅牢な塗り物だったものに、江戸時代以降、京都から蒔絵を、輪島から沈金をそれぞれ取り入れ、華麗な装飾性を帯びるようになったといわれる越前漆器。椀類が中心だったが、角物といわれる膳類、重箱や手箱、盆、菓子箱など多様化し、近年は、新しいテーブルウェアなども続々登場している。1万年以上前から用いられている漆の伝統と優れた機能性はそのままだに、現代の暮らしに溶け込むようなカラーリングや食器洗

詳細動画はこちらから



漆の抗菌性や抗ウイルス性に注目、永く、丈夫に使える一生もの。

越前漆器のおはなし



産地全体で分業体制が確立しており、木地づくり、塗り、加飾などのさまざまな工程が高度に専門化しているのが特徴。今では伝統的な木製の漆器だけでなく、合成樹脂素材や化学塗料を使った多種多様な商品を消費者に提供することにも取り組んでいる



い風合いと綺麗なフォルムに仕上げられた小物入れ、鋭角な凹凸により模様を表現し、鮮やかな色合いで仕上げた多彩なアイテムは日常の生活の中にあるだけでも絵になる。

約1500年の歴史を持ち、美しさと丈夫さで、古くから最高品質の和紙として知られてきた越前和紙。日本最初のお札用紙にも採用され、美術界では横山大観や平山郁夫などの芸術家も支持。近年では抗菌消臭の効果認められ、宇宙滞在用被服の素材にも採用されている。壁紙やふすま紙をはじめ、インテリア用品、暮らしに取り入れることができるアイテムも増え続け、それらは「用紙」の枠にとどまらない。シワ感のある優し

詳細動画はこちらから



種類の豊富さと質の高さは日本一、日常に取り入れたいくなる風合い。

越前和紙のおはなし



越前和紙は楮・三椏・雁皮などの植物の靱皮繊維を主原料に、溜め漉き(ためずき)、トロアオイの粘液を加えた流し漉き(ながしずき)など、手漉きを中心に作られている。また、機械すき、紙加工も行われ、種類の豊富さと質の高さは日本一と称されている





一度手にすれば二度と手放せない魅力に満ちている。定期的な研ぎ直し、傷んだ柄の交換などでもできるため、日常の暮らしの中で長く使い続けることができる。

詳細動画はこちらから



始まりはその名を轟かせた越前鎌、
今や世界中の料理人を魅了する。



越前打刃物のおはなし



刃物を作るためには鋼と鉄の塊を鍛造して強くし、形作り、火を入れ、また打ち、火を入れ、冷やし、また打つなど14の工程があり、最後に刃を研ぎ仕上げる。なかでも包丁の「二枚広げ」と鎌や刈り込み鋏の「回し鋼着け」は越前打刃物特有の工程となる



種類やデザインもさまざまで、個性豊か。現代の暮らしにフィットする摩登さ、盛り付ける料理のジャンルを選ばない柔軟さがあり、毎日の食卓が楽しくなる。

福井県丹生郡越前町（旧宮崎村、織田町）に粘りのある鉄分の多い陶土があったことよって生まれ、現在県内では約80の窯元が窯を構え、作陶に取り組む。伝統的な越前焼は釉薬を使わず、焼き締めや灰釉を中心とした素朴な仕上がりが特徴。一方で、伝統を生かしつつ、越前粘土の特徴を活かした薄作りの商品や、鉄釉やカラフルな色釉を使った新しい作品も作られており、常に進化を続けている伝統的工芸品といえる。職人によって作られる作品は

詳細動画は
こちらから



盛り付ける料理を選ばない、
食卓をセンスアップする器。

越前焼のおはなし



約850年以上前の平安時代末期より北陸最大の窯業産地として発展。後に日本六古窯の一つに数えられ、日本遺産の認定を受ける。粘土紐を積み上げて、板べら（刃がたな）で何度も薄くのばす「ねじたて技法」が編み出され、その技術は今も継承されている

越前箆笥のおはなし



天然無垢材の原木から必要な部材に加工し、塗装、組み立て、金具を取り付けるなどして完成する。単に衣類をしまうものではなく、商家の証文や大福帳をしまう金庫として使われたため、頑丈で鍵がかかり、火事の時に運び出すために車輪がついた車箆笥が代表格

美しさと個性ある箆笥は
アートにもなる芸術品。



木材の特性を活かし、釘は使わずに木の板と板を組むほぞ接ぎの技術を持つ指物師によって作られるようになった越前箆笥。仕上げの漆塗りに越前漆器の技術である拭き漆、春慶塗、呂色塗りなどの技法を、鉄製金具には越前打刃物の技が用いられている。江戸後期からは婚礼道具や家宝として重宝。その伝統的なデザインや造りの美しさ、堅牢な作りで宿る箆笥作りの技術を、現代の生活に落とし込んだ新商品も生まれ、今

もなお生活の中で大切にされる存在として息づいている。レトロモダンな雰囲気は味わい深く、アート感覚でも愛することもできる芸術品だ。

詳細動画は
こちらから





い。伝統的な茶器や箸以外にも、創意工夫から生み出される時代に合わせたモダンなデザインアイテムは、日用品としても活躍してくれる。

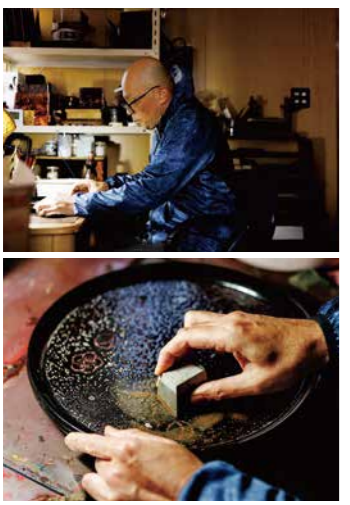
発祥は400年前で、模様
の美しさから宝石塗とも言
われる。アワビの貝殻や卵
の殻、松葉を使って模様を
入れ、その上に漆を数十回
塗り重ね、石で研ぎ出した
後、さらに木炭で肌を細か
くする“研ぎ出し技法”が
特徴。華麗な若狭塗は、質
素儉約が美德の江戸時代、
一部の公家や武家のみで使
われていた。手間ひまかけ
て作られる若狭塗は、堅牢
で熱や水にも強く、日常で
の頻繁な使用や長期間の使
用にも耐えられる製品が多

詳細動画は
こちらから



丹念に塗り重ねた漆から
研ぎ出される、宝石のような輝き。

若狭塗のおはなし



若狭塗の黄金時代といわれた江戸中後期には、箔押し研出し技法(青貝・卵殻)、螺鈿以外にも蒔絵の技法も併用され、200種以上にも及ぶ塗手法が完成されていた。水や熱に強い若狭塗の中でも、箸は国内で生産されている塗箸の多くを占めている

若狭めのう細工



れてきたが、最近では工程
の中で出る石のかげらを活
かしたピアスやイヤリング
なども作られ、気軽に現代
のファッションに個性をプ
ラスすることができる。

めのうは、古くから七宝の
一つに数えられ、日本にお
ける貴石細工のルーツとし
ても知られ、炎のように鮮
やかで赤く半透明な色彩が
特徴。その深みのある赤い
色合いは鉄分を使用した独
特の技法「焼き入れ」とい
う工程によって生まれる。硬
度が高く、石の形状にあわ
せて少しずつしか削ること
ができないため、できる製
品はすべて1点もの。鶏や
鯉などの調度品も多く作ら

詳細動画は
こちらから



日本の貴石細工のルーツを
生活に寄りようアイテムに。

若狭めのう細工のおはなし



奈良時代に信仰の一環でつくられたのが発祥。江戸時代に入り、眼鏡屋に奉公し、玉づくりの技術を得た職人によって再興された。明治時代には、彫刻の技術がもたらされ、繊細な作品が作られるようになった



武生桐箱

洋服や小物など大切なお気に入り
をしっかり守ってくれる桐材。

防湿や抗菌、通気性に優れた桐材で作上げる箱は、湿気が多い福井の土地柄に適した家具である。大切な洋服や衣類はもちろん、お気に入りの小物やアイテムを保管するにも最適と言える。昔ながらの総桐箱なら一飽かけるだけで美しさが甦り、現代のライフスタイルに合ったデザインにリメイクするのも良い。

島中桐箱
福井県越前市広瀬町121-27-2
TEL.0778-22-3021



三国箱

三国の歴史と文化に想いを馳せる
一生モノの和家具。

北前船の寄港地 三国で生まれた独特の趣きと重厚な造りは、まさに“日本家具”の歴史や文化を凝縮した逸品。そして、洋室をはじめ様々な空間にも自然と馴染んでしまう雰囲気も醸し出している。ケヤキや桐、漆など本物の材料と先人達から受け継がれた想いと確かな技術は、時代が変わっても色褪せることはない。

(有)匠工芸
福井県福井市若杉3-905
TEL.0776-34-3848



越前竹人形

竹独特の曲線と細工、
経年のアメ色から癒しを感じる。

かつて、福井の至るところにあった竹藪と、職人の創意工夫で生まれたのが竹製品である。軽くて丈夫、年月を経てアメ色になっていくと、やさしさや懐かしさ、心をホッとさせる不思議な魅力も加わってくる。福井出身の作家 水上勉氏の同名小説を読むと、さらに越前竹人形の奥深さを実感できるのではないだろうか。

福井竹芸尾崎欵一工房
福井県福井市松本3-10-13 TEL.0776-23-4770
竹工芸 創竹(金津創作の森)
福井県あわら市青ノ木44-21 TEL.0776-73-1645



銀杏材木製品

プロも愛用するアイテムで、
料理のスキルアップを目指してみる。

古来より“神の木”と呼ばれる銀杏。その代表的アイテムがまな板である。油分が多いため水はけが良く、弾力があるので腕への負担も少なめ。刃当たりが良いので包丁も傷みにくく、消臭効果があるなど、料理スキルをアップさせてくれそうな要素も揃う。包丁の音や響きも心地良いので、料理時間も楽しめるだろう。

(株)双葉商店
福井県福井市足羽1-26-8
TEL.0776-36-3796



越前和燭

やさしく揺らぐ炎と美しい装飾で、
お気に入りの空間を演出。

江戸時代に生まれ、仏教や様々な儀式にも使われてきた和燭。原料は植物のハゼの実で、芯は特別に漉いた和紙。揺らぐ炎は消えにくく、油煙も少ない環境にやさしいSDGsアイテムでもある。白や朱色以外にも花々が描かれてあったり、アロマ付き、現代インテリアに合ったデザインなど、空間演出にも役立つだろう。

(株)小大黒屋商店
福井県福井市順化2-15-9
TEL.0776-22-0986



郷土工芸品

暮らしの中で育まれました



越前指物

一つの木からいねいに作られる
年輪の美しさを生かした指物。

“浮月挽(うげつびき)”とは、年輪100年以上のケヤキを10年以上乾燥させて、ロクロで巧妙に輪を浮堀挽にしたもの。最近では円形だけでなく、八角形に挽いて表現するなど進化を続けている。また、一つの木を挽いているので、表面模様(年輪)はピタリと一致する。独自の技法と美しさは、まさに芸術品といえる。

田中光月
福井県鯖江市別司町42-6-2
TEL.0778-65-2569



うるしダルマ

元気づけられたり、ホッとしたり。
ダルマのパワーで、人生順風満帆!

カラフルな色彩の正体は漆で、一つひとつ色合いも形も異なる一点もの。キリッとしたダルマの表情に気持ちが引き締まったり、元気づけられたりするので、小さいものはキーホルダーとして愛用する人も多い。また、いくつも並べてみれば空間アクセントにもなる。凛々しいダルマの他に、やさしい福姫ダルマもある。

ツカモト民芸センター
福井県小浜市福谷8-29-8
TEL.0770-52-2590



若狭和紙

強度があり用途も広い手漉き和紙。
暮らしの様々なシーンを彩る。

清らかな水と若狭の風土から作られる手漉き和紙。ちぎり絵や手芸用、友禅の原紙として使われているが、用途はまだまだ広い。例えば、白い和紙に色紙をさせばアクセントになるし、ランプシェードで独特の色も楽しめる。また、若狭和紙は強度も自慢なので、暮らしの色々な部分にアレンジして使ってみよう。

若狭和紙の家
福井県小浜市遠敷4-406
TEL.0770-56-0363



若狭パール

様々な色彩が織りなす輝きが
その人の魅力を際立たせてくれる。

フォーマルシーンに欠かせない装飾品、パール(真珠)。最近では、普段に楽しむ人も増えてきた。その理由は独特の美しさはもちろん、何にでも融合し変化する高いコーディネート力があるからだ。様々なアイテムがあるピンク系ホワイトの若狭パールなら、魅力をさらにアップできそう。アクセサリの手作り体験もある。

(有)間宮真珠養殖場
福井県大飯郡おおい町犬見31-28
TEL.0770-77-0432



越前水引工芸

身近に置くことで、日々好事に
満ち溢れる、財と福を招く宝船。

古来より慶事の縁起物として親しまれてきた水引工芸。和紙の紙縫(こより)に水糊を付け、色鮮やかな糸を巻くその一本一本は繊細で、美しくて華やか。工芸品からは作り手の祝う気持ちも伝わってくるようだ。お祝いの後は飾っておけるので、幸運を招くアイテムとして玄関や部屋に置いておくのもおすすめです。

西谷物産(株)
福井県福井市下馬3-1716
TEL.0776-50-0707



武生唐木工芸

古い家具を“モダン”と捉えて、
唐木で新しい家具を作り上げる。

唐木とは、唐の時代に日本に伝来した木材のこと。主に紫檀(したん)を使う唐木工芸では、“古い”を“モダン”と発想を転換することで、今までになかった様々なアイテムを作り出している。また、美しい艶と光沢は何度も塗り磨いた漆によるもの。長年使い込むことで経年変化が楽しみ、愛着もわいてくる。

唐木工芸 work ofみはら
福井県越前市神明町1-23
TEL.0778-22-4602



越前ノ縄

幸せを願いながら編み上げるしめ縄。
飾ること、気持ちも引き締まる。

正月に欠かせないしめ縄は、地域毎に編み方が異なる。ワラを完全に乾燥させ、変色前に保存。そこから編む作業となるので全工程は一年がかりである。ダイダイは子孫繁栄、アシビヤヒイラギは邪気退散など、山海の産物を付けて天下豊楽も願うという。心を込めて編んだしめ縄が、新しい一年の幸せを迎え入れてくれる。

(株)山崎農園
福井県丹生郡越前町織田97-8
TEL.0778-36-1698



福井仏壇

目まぐるしく変わる迷い多き時代に、
心に安寧を与えてくれる。

見る者を圧倒する堂々とした佇まいが特徴的な仏壇は、江戸時代末期から作られ、大正時代に今のデザインとなった。本漆塗りに見事な蒔絵、金箔はととも美しく、心を静かに落ち着かせてくれるだろう。激動で、迷うことも多い現代、家族の歴史でもある仏壇は、いつでも私達を見守ってくれている存在なのである。

福井仏壇工芸会
福井県福井市米松2-24-36
TEL.0776-54-1933



油 団

和紙と荏胡麻油が作り出す不思議な感覚は、
エアコンとはまた違う涼しさ。

油団とは、夏の風物詩の一つ。和紙を何枚も貼り、表面に荏胡麻油を塗った敷物は、夏の暑さをひと時でも和らげ、ひんやりとした涼感を感じさせてくれる。完成時は乳白色だが、少しずつ深い鉛色へと変化し、手ずから拭きあげることで独特の艶を得る。より味わい深くなっていく油団は、部屋の雰囲気も素敵に変えてくれる。

紅屋紅陽堂
福井県鯖江市田村町2-10
TEL.0778-62-1126



鯖江木彫

自分の人生も思い出させてくれる
アメ色に変わっていく木彫作品。

私達の身近にある木材、そして木彫作品。材料は主にケヤキやクス、ヒノキなどで、なんと200本以上ものノミを駆使して仕上げていく。つまり、ノミひとつ、彫り方ひとつで柔らかさややさしさ、凛々しさ、重厚感さえ出すことができるのである。年月を経ることで木地がアメ色に変化していくのを楽しむのも一興である。

鈴木彫刻所
福井県鯖江市平井町55-13-1
TEL.0778-62-1836



越前鬼瓦

日々の安心・安全を願う気持ちに
寄り添う、厳しくもやさしい鬼。

発祥は江戸時代中期頃で、睨みをきかせた表情が魔よけとして住宅や寺院の屋根に多く見られた。近年では、小型のものが玄関や入口に置くインテリアとして人気を集めている。また、全国でも珍しい全工程を腕一本で造り上げる鬼師工房では、古来からの技術を継承しつつ、現代の暮らしに合った作品を生み出している。

福井県瓦工業協同組合
福井県福井市文京6-7-3 TEL.0776-22-3912
北川鬼瓦
福井県越前市池ノ上町8-5-1 TEL.0778-23-5744



武生唐木指物

唐木の美しさを引き出す職人技で
作り上げられた、芸術的な工芸品。

伝統的工芸品「大阪唐木指物」を、武生(現 越前市)にて伝承し伝統的技術技法を忠実に守り続け100年。唐木とは、紫檀、黒檀、鉄刀木、花梨材の総称。堅い木質で金具を使わない指物技術で制作し、仕上げの天然漆を漆摺り拭き漆仕上げが美しい光沢と風合いを。古くなったお道具も確かな技術で甦る。

(有)高嶋木工所
福井県越前市府中1-6-8
TEL.0778-24-0601





三国提灯

和紙からのあたたかい灯りて
一瞬、現実逃避。幻想的な世界へ。

材料は竹と和紙、そして照明のみ。そこに色鮮やかな文字や模様が描かれることで賑やかさが加わり、日本の文化や歴史、趣きを感じさせてくれる。和紙を通したやわらかな灯りはやさしくて、あたたかくて、癒される感覚も得られるだろう。自分だけの小さな提灯を作る「三国提灯づくり体験」も受け付けている。

三国提灯 いとや
福井県坂井市三国町南本町2-3-29
TEL.0776-81-3574



越前菅笠

想像以上に涼しく、雨もしのぐ
高性能なレトロアイテム。

江戸時代以降、農家の副業として盛んだったのが菅笠作りである。男性が骨組みとなる竹を割り、女性が菅笠を縫うシンプルな造りだが、菅草の天日干しと浸水により、雨も熱も通さない高い性能を誇る。猛暑下での屋外作業やガーデニングなどにも最適なアイテムだ。受注生産ながら、全国に愛用者も多い。

越前菅笠を守る会
福井県福井市田尻板谷町1-22
TEL.0776-98-2333



福井三味線

和楽器から未知なる音の世界へ。
様々な音色が心をふるわせる。

初代は箏販売、二代目より箏と三味線を自ら製作し始め、現在三代目はさらなる高品質の音を目指しながら製作と修理を継承している。三味線の音色は華やかさや賑やかさがある一方、もの悲しくも感じられる独特の趣きや奥深さがある。歴史ある和楽器に触れることで未知なる世界が広がり、“音の沼”へと導かれていく。

(有)伊与和楽器店
福井県福井市中央3-12-27
TEL.0776-22-5644



越前洋傘

雨の日が待ち遠しく、開くのも楽しい
縁起の良い手作りの傘。

眼鏡枠技術を生かした24本の骨組、混織羽二重を再現した生地、越前漆器の技術を採用した持ち手と傘の頭部分。福井県産素材で、しかも全工程手作りの洋傘は丈夫で美しく、使い勝手も抜群である。傘は運気を広げる末広がりを意味し、露払いや厄払いなど物事が丸く収まる縁起物でもある。雨の日が待ち遠しくなりそうだ。

(株)福井洋傘
福井県福井市浜別所町4-4-2
TEL.0776-85-1114



石田縞

長く愛用できるお洒落な縦縞。
着物好きが支持する逸品も。

木綿を使った藍染中心の縦縞の手織物。丈夫さに定評があり、かつて福井県下の女学校や小学校の制服にも採用されていた。小物入れやエプロン、コースターなどのアイテム以外にも、竹紙という越前和紙を糸に紡いで織り込んだ全国でも珍しい木綿織物“越前石田縞”は着物や帯として愛好されている。

協同組合 鯖江市織維協会
福井県鯖江市紀町32-1-1 TEL.0778-52-1880



佐々木理恵
福井県鯖江市長泉寺町1-6-15 TEL.0778-51-4647



組子指物

繊細すぎる高い職人技術に感服。
1年以上待つ甲斐のある美しき逸品。

手作業で木を組み合わせていく「組子」は、木の大きさが小さいほど繊細さを増す。特徴的なデザインの一つ、網目文様は竹を編む技術を参考にしたもので、最小で1.5ミリ角の木片に溝やホゾを入れていく、高い技術を要する。制作期間は1年以上だが完成を待つ甲斐があり、使う喜びや優越感も得られるだろう。

土工芸
福井県大飯郡高浜町上瀬7-27
TEL.0770-76-1514

福井の伝統工芸を楽しむ 伝統工芸関連イベント



RENEW

鯖江市・越前市・越前町で行なわれる、持続可能な地域づくりを目指した産業観光イベント。越前漆器・越前和紙・越前打刃物・越前筆筒・越前焼・眼鏡・繊維の7つの産地から工房、飲食店、宿、地域企業が参加し、工房の見学や趣向を凝らしたワークショップを体験できる。

開催時期／毎年10月上旬

開催場所／鯖江市、越前市、越前町全域

箸まつり

塗り箸の全国シェア80%を誇る小浜市の人気イベントで、「はしのひ」にちなみ、毎年8月4日に開催。箸研ぎ体験や箸ブロック工作の他、館内の商品を半額にて提供する。使えなくなった箸の供養神事も行い、古くなった箸は一家族5膳まで交換してくれる。

開催時期／毎年8月4日

開催場所／箸のふるさと館WAKASA



千年未来工芸祭

越前和紙や越前打刃物、越前筆筒など、「モノづくりのまち」越前市を代表する工芸を中心に、製品や手仕事を身近に感じることができイベント。全国各地から100を超える、伝統工芸、クラフト、食といった各ジャンルの職人が集結し、展示販売やワークショップを開催する。

開催時期／毎年8月下旬
開催場所／越前市アイシンスポーツアリーナ、他



越前陶芸まつり

越前焼の窯元が一堂に集結する県内最大規模の陶器市。新作をはじめ数多くの焼き物が販売される。伝統工芸品や地元商工会加盟店などの飲食販売のほか茶会などの催しもあり、まつり期間は多くの人で賑わうイベント。

開催時期／毎年5月最終土・日曜日

開催場所／越前陶芸村



河和田塗 越前漆器まつり

1500年もの歴史と伝統を誇る越前漆器を体験できるイベント。漆器の即売会をはじめ、絵付け体験や伝統工芸士の実演の他、フードコーナー、コンサートなどさまざまな催しで賑わう。普段は中々見られない掘り出し物やお買い得品などを多数展示販売する。

開催時期／毎年5月3日・4日

開催場所／うるしの里会館



えちぜん和紙の市

越前和紙産地の製紙所が一堂に、日頃購入することができない様々な越前和紙を販売。また、会場内にある『パピルス館』内のショップ「和紙処えちぜん」にて割引セールも開催する。

開催時期／毎年5月3日・4日・5日

開催場所／越前和紙の里 パピルス館前駐車場



ふくいモダン刺し子

日本伝統のデザインを守りつつ、
独自のデザインで新風を織り込む。

昔、貴重な布を大切に使うため生まれた技法が「刺し子」。布を何枚も重ね丁寧に縫い込み、新たな強度と温もりを生み出す。麻の葉、七宝、千鳥など、日本の伝統デザイン特有の幾何学文様が刺された布は、生活品としての価値をより高めていった。現在は独自のデザインも加えながら作品を制作し、刺し子技法を伝承している。

五島万里代
福井県丹生郡越前町小原110-114
TEL.0778-32-3457



今谷焼

1000年以上の時を超えて復活。
新旧を融合させたクールジャパン。

1990年、おおい町今谷で須恵器の窯跡発見を機に復活。地元「きのこの森」周辺の赤土をブレンドした土は鉄分が多く、艶っぽい黒色に反映。その黒色を生かしながら現代に合うアイテムが作られている。2017年にはフランス パリで販売され、クールジャパン商品として高い評価を受けた実績もある。オーダーも対応可能。

(株)おおい
福井県大飯郡おおい町鹿野42-27
TEL.0770-78-1714



越前竹細工

地元材料で作り上げる
後世までも使える収納アイテム。

大正元年、徳川慶喜公より竹廣斎の号を授与、現在4代目。竹の骨組みに和紙を何度も貼り重ね、漆で塗り上げる一閑張りは、皇室の衣装入れとして献上の経験もある。素材はすべて地元産の竹と和紙、漆、しかも手作りであって、丈夫で防虫効果もある。お気に入りの収納する他、贈り物としても喜ばれている。

野原竹工所
福井県鯖江市戸口町20-15
TEL.090-4680-8968

タケフナイフビレッジ



複数の刃物会社でシェアする「共同工房」では、優れた切れ味の刃物が作られていて、スロープを上ると鍛造や研ぎを行う様子を一望することができる。また、ショップでは多種多様な包丁を販売しており、実際に手に取って見ることも可能。

体験 買う

TEL.0778-27-7120
福井県越前市余川町22-9



- ☎ 9:00～17:00
- 🗓 年末年始
- 🎫 入館無料、両刃包丁教室20,000円、小出刃研ぎ5,000円、両刃研ぎ6,000円(すべて要予約)
- 📍 武生駅から福鉄バス入谷線で約20分、「味真野神社前」下車、徒歩約10分／北陸新幹線越前たけふ駅からタクシーで約8分

越前千代鶴の館



越前打刃物の歴史や技術についての展示・映像の他、火造り鍛造の製作実演などを通して魅力を発信。研ぎ教室やペティナイフ作り教室なども不定期に開催する。また、近隣には『越前打刃物会館』もあり、職人が一つ一つ丁寧に仕上げた様々な包丁を常時販売している。

体験

TEL.0778-22-1241
福井県越前市池ノ上町48-6-1



- ☎ 9:00～17:00
- 🗓 火曜(祝日の場合はその翌日休み)、年末年始(12月29日～1月3日)
- 🎫 入館無料、ペティナイフ作り教室2,500円
- 📍 武生駅よりコミュニティバス(のろっさ)坂口・神山ルートで約25分、「向陽町」下車、徒歩約10分

卯立の工芸館



江戸時代中期に建てられた紙漉き家屋を移築・改修。昔ながらの道具を使い、原料づくり・紙漉き・乾燥など、一連の作業を見学できる。また、職人たちの指導のもとでチャレンジする本格的な「流し漉き(国産楮100%)」体験も実施。日本の風土と感性に育まれてきた紙漉きを体感してみよう。

体験

TEL.0778-43-7800
福井県越前市新在家町9-21-2



- ☎ 9:30～17:00(入館は16:30まで)
※紙すき見学は16:00まで
- 🗓 火曜、年末年始
- 🎫 入館300円(高校生以下無料)、流し漉き(菊判2枚or政判4枚)8,800円
- 📍 武生駅より福鉄バス池田線または南越線で約30分、「和紙の里」下車

パピルス館



越前和紙の里エリア内にあり、和紙の代表的な原料の楮(こうぞ)を使い、子どもから大人まで楽しめる和紙づくりの体験が可能。自由な発想で世界でたった1枚のオリジナル和紙を作ろう。また、館内の「和紙処えちぜん」では工芸用和紙から和紙文具・雑貨まで幅広い商品が揃う。

体験 買う

TEL.0778-42-1363
福井県越前市新在家町8-44



- ☎ 9:00～16:00 ※「和紙処えちぜん」は16:30まで
※体験受付は15:30まで
- 🗓 火曜、年末年始
- 🎫 入館無料、紙漉き体験600円～、御朱印帳づくり2,700円/1冊、うちわづくり(ミニ判)1,000円/1セット(はがき2枚判+プラスチック製骨キット込)
- 📍 武生駅より福鉄バス池田線または南越線で約30分、「和紙の里」下車

うるしの里会館



越前漆器の歴史や製造工程などが学べる他、展示・販売している商品は1,000種類以上あり、産地価格で購入できる。また、お椀・写真立て・手鏡などの絵付けの他、沈金・拭き漆の体験も可能。館内にある喫茶「椀祝」では、産地の食材を使ったランチを漆の器で楽しむことができる。

体験 買う

TEL.0778-65-2727
福井県鯖江市西袋町40-1-2



- ☎ 9:00～17:00
- 🗓 第4火曜(祝日の場合はその翌日休み)、年末年始(12月29日～1月3日)
- 🎫 入館無料、絵付け体験1,650円、沈金体験2,200円、拭き漆体験2,970円
- 📍 鯖江駅からコミュニティバス(つづじバス)河和田線で約25分、「うるしの里会館」下車

福井の伝統工芸に触れよう
体験・販売スポット

箸のふるさと館 WAKASA



昔ながらの手法で丹念に作り上げられた逸品から、現代のモダンな食卓に応じた斬新なデザインのものまで、常時約3,000種の箸を展示販売。さらに8月4日は「箸の日」にちなんで全品50% OFFにて購入が可能！ 研ぎ出しコーナーも設置しており、マイ箸作りを体感できる。

体験 買う

TEL.0770-52-1733
福井県小浜市福谷8-1-3



- 🕒 9:00～17:00
- 🗓 木曜、年末年始
- 🎫 入館無料、箸の研ぎ出し1,100円
- 📍 小浜駅から「あいあいバス」泊線にて約13分、「福谷」下車、徒歩約5分

若狭工房



御食国若狭おばま食文化館の2階にあり、若狭おばまゆかりの伝統工芸である「若狭塗」「若狭めこの細工」「若狭和紙」を見て、触れて、体験することができる。箸の研ぎ出しやめこの磨きなどの体験では、各伝統工芸の職人やインストラクターがサポートしてくれるので安心。

体験 買う

TEL.0770-53-1034
福井県小浜市川崎3-4
御食国若狭おばま食文化館2F



- 🕒 9:00～18:00(11月～2月は17:00まで)
※体験コーナーの受付は閉館の1時間前まで
- 🗓 水曜(祝日の場合は閉館)、年末年始(12月28日～1月5日)
- 🎫 入館無料、箸の研ぎ出し1,300円、めこの磨き1,100円、めこの薄板(ペンダントorキーホルダー)の模様付け1,100円、色紙漉き1,100円
- 📍 小浜駅から「あいあいバス」健康管理センター線にて約15分、「食文化館」下車

越前筆筒会館



越前筆筒の工房などが集まる、通称「タンス町通り」に面した施設で、越前筆筒の情報発信の拠点となっている。1階のショールームでは、越前筆筒や越前指物など、組合員各工房の作品を展示。また、不定期にて木工体験などのワークショップも開催する。

体験

TEL.0778-42-5289
(越前市伝統工芸振興課)
福井県越前市本町1-19



- 🕒 11:00～16:00
- 🗓 水・木曜、年末年始
- 🎫 入館無料
- 📍 武生駅から徒歩約10分

織田陶房わづみ館



越前町営の陶房として、子どもから大人まで陶芸を楽しめる体験型施設。40人が一度に体験することが可能で、地元の陶芸作家が親切に対応してくれるため初めての人でも大丈夫。越前の土に直接触れながら、自分だけのオリジナルの越前焼を作ってみてはいかが？

体験

TEL.0778-36-1922
福井県丹生郡越前町下河原37-44



- 🕒 9:00～17:00 ※完全予約制
- 🗓 不定休
- 🎫 制作コース1,570円(粘土1kg)
- 📍 武生駅から福鉄バス武生越前海岸線で約30分、「平等口」下車、徒歩約5分

越前焼工業協同組合 越前焼の館



越前焼工業協同組合の運営する窯元直売所。壺や花瓶をはじめ、日常使いにピッタリの食器や茶器など、バリエーションに富んだ約3,000種類の商品を販売している。土のぬくもりと釉薬の味わい深さが特長の越前焼はギフトにも最適で、お気に入りの器をじっくりと探してみよう。

買う

TEL.0778-32-2199
福井県丹生郡越前町小曾原5-33



- 🕒 10:00～16:00(土・日・祝日は9:00～17:00)
- 🗓 年末年始
- 🎫 入館無料
- 📍 武生駅から福鉄バス武生越前海岸線で約30分、「陶芸村口」下車、徒歩約10分

福井県陶芸館



見て学ぶ「資料館」、作って楽しむ「陶芸教室」、使って味わう「茶苑」からなり、越前焼の様々な魅力を紹介。手ひねり、絵付けなどの体験が可能で、福井県内の窯元の作品も購入できる。敷地内には『越前古窯博物館』や『越前陶芸村文化交流会館』など越前焼の関連施設が並ぶ。

体験 買う

TEL.0778-32-2174
福井県丹生郡越前町小曾原120-61



- 🕒 9:00～17:00(入館は16:30まで)
- 🗓 月曜(祝日の場合は閉館)、祝日の翌日、年末年始(12月28日～1月4日)
- 🎫 入館300円(高校生以下無料)、手ひねり体験1,500円、絵付け体験600円～、電動ろくろ体験3,000円(1作品焼成費含む)
- 📍 武生駅から福鉄バス武生越前海岸線で約30分、「陶芸村口」下車、徒歩約10分

ふくい食の國291



福井県内各地から厳選した食品と工芸品のショップや、福井の食を凝縮したイトインスペース、観光移住情報コーナーを有するアンテナショップ。職人技が光る逸品から現代風のおしゃれでかわいい雑貨になった伝統的工芸品など、魅力的な品々を東京で購入できる。

買う

TEL.03-5159-4291
東京都中央区銀座1-5-8
Ginza Willow Avenue BLDG 1階・地下1階



- 🕒 10:30～19:00(ショップ)
- 📅 不定休、年末年始
- 🎫 入館無料
- 📍 東京メトロ銀座駅A9出口から徒歩約5分、東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅5番出口から徒歩約1分、JR山手線・京浜東北線有楽町駅京橋口改札から徒歩約5分

道の駅 越前たけふ



北陸新幹線「越前たけふ駅」に隣接した施設で、観光案内所やお食事処などを併設。1Fの物産販売所では越前和紙や越前打刃物、越前指物など地元越前市の工芸品の他、越前漆器や若狭塗箸など、お土産品としてピッタリのアイテムを販売している。

買う

TEL.0778-43-5661
福井県越前市大屋町38-5-1



- 🕒 9:00～18:00(物産販売所)
- 📅 第2水曜(祝日の場合は翌日休み)、1月1日
- 🎫 入館無料
- 📍 北陸新幹線越前たけふ駅から徒歩約1分

SAVA!STORE



鯖江市に拠点を置くローカルクリエイティブカンパニー「TSUGI」プロデュースによるセレクトショップで、ストーリー性の高いデザイン性に優れた伝統工芸品やオリジナル雑貨などが揃う。素材の特徴や製造工程、使い方、作り手の思いを聞きながら、お土産に最適なアイテムを選ぼう。

買う

TEL.0778-25-0388
福井県鯖江市河和田町19-8



- 🕒 12:00～18:00(土・日・祝日は11:00～18:00)
- 📅 火・水曜
- 🎫 入店無料
- 📍 鯖江駅からコミュニティバス(つつじバス)河和田線で約25分、「河和田コミュニティセンター」下車

※2024年3月福井駅前MINIEに福井店オープン!

福井WAZABI



西武福井店本館5階にある、福井の工芸品セレクトショップ。様々な工芸作家たちの作品を展示販売しており、多彩なアイテムに出会える。また、職人たちとのコラボによる実演販売会や期間限定販売などの各種イベントも定期的で開催しているので、気軽に立ち寄ってみよう。

買う

TEL.0776-28-8261
福井県福井市中央1-8-1 西武福井店5F



- 🕒 10:00～19:30
- 📅 西武福井店に準ずる
- 🎫 入館無料
- 📍 福井駅から徒歩約7分

福人喜 ハピリン店



JR福井駅近くの商業施設『ハピリン』内にあり、「心を込めて作られた地域産品のお福分け」をコンセプトに、越前和紙、越前焼、越前漆器、若狭塗箸といった福井の工芸品を販売。また、伝統の技を活かした地元デザイナーのクラフト雑貨など注目のアイテムも揃う。

買う

TEL.0776-25-0291
福井県福井市中央1-2-1 ハピリン2F



- 🕒 9:00～20:00
- 📅 無休
- 🎫 入館無料
- 📍 福井駅から徒歩約1分

きのこの森 陶芸館



おおい町の特産品のきのこをモチーフにしたテーマパーク「きのこの森」内にあり、六世紀頃の須恵器の窯跡が発見されたことを記念して建てられた施設。大自然を目の前に作陶コースや絵付けコースなど、専門の陶芸家たちの指導のもとに体験できる。

体験

TEL.0770-78-1714
福井県大飯郡おおい町鹿野42-27



- 🕒 9:30～17:00(体験は10:00～、13:30～)
- 📅 月・木曜(祝日の場合は翌日休み)
- ※夏休み期間中は無休
- 🎫 入園300円、作陶コース1,040円/1kg、絵付けコース420円～、
- 📍 若狭本郷駅から福鉄バス本郷線にて約16分、「小車田」下車すぐ

越前大野城

大野市



市街地の小高い山(亀山)の上にそびえる平山城。現在の城は、昭和43年に再建されたもので、城内には歴代城主の遺品などが展示されている。10月下旬から4月末頃の気象条件が揃った日には、市街地がすっぽりと雲海に沈み天守が浮かんで見える天空の城としても知られる。



福井県立恐竜博物館

勝山市



恐竜化石の宝庫として全国的にその名が知られている世界有数の規模の博物館。広大な無柱空間では恐竜骨格や化石・標本、ジオラマ、復元模型などを展示。3面にわたる巨大スクリーンでは、実物大の恐竜の世界を臨場感ある映像で楽しめるなど、見どころ満載のスポットだ。



丸岡城

坂井市



天正4年(1576)に柴田勝家の甥・勝豊が築城。現存する天守は、外観2重、内部3階の独立式望楼型で、国の重要文化財に指定されている。春には400本の桜が咲き誇り、日本さくらの名所100選にも認定。夜は天守を彩るプロジェクションマッピングを随時開催している。



東尋坊

坂井市



断崖に日本海の荒波が打ち寄せる大迫力の景色で知られる、国の名勝・天然記念物。約1kmに渡って豪快に広がる輝石安山岩の柱状節理の岩壁は世界に3カ所だけと言われるほど珍しく、地質学的にも貴重な場所。遊覧船から見る景色も東尋坊を楽しめる魅力の一つ。



三方五湖

美浜町・若狭町



美浜町と若狭町にまたがる三方湖、水月湖、菅湖、久々子湖、日向湖の5つの湖は、それぞれの水質や水深が異なり、すべて濃さの違う青色に見えることから「五色の湖」と呼ばれている。山頂公園には足湯やソファータラスなどの5つのテラスがあり、絶景を楽しむ。



人道の港 敦賀ムゼウム

敦賀市



敦賀港はロシア革命の動乱により親をなくしたポーランド孤児や、「命のピザ」を携えたユダヤ難民が上陸した港。その史実を中心に、当時の敦賀市民の証言やエピソード、今も続く関係者との心温まる交流を分かりやすく紹介し、命の大切さと平和の尊さを発信している。



大本山永平寺

永平寺町



寛元2年(1244)に道元禅師によって開かれた禅の修行道場。境内には70余りもの殿堂楼閣が建ち並び、中でも「七堂伽藍」と呼ばれる7つのお堂(法堂・仏殿・僧堂・庫院・山門・東司・浴室)は、僧侶が修行をする清浄な場所として特に重要な建物とされている。



一乗谷朝倉氏遺跡

福井市



5代103年にわたって越前を支配した朝倉氏の城下町跡。昭和42年からの本格的な発掘調査以降、貴重な歴史遺物が次々と発掘され、全国でも6例しかない特別史跡・特別名勝・重要文化財の三重指定を受けている。武家屋敷や商家、町屋群など、原寸大の復原町並も見どころ。

